

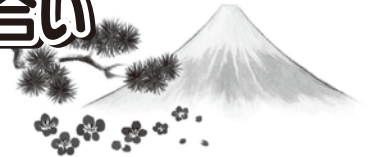


HSK  
むつき  
**睦月号**  
NO.122 2011.1.10号  
Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号466号  
発行/2011年1月10日  
編集者/我妻 武  
住所/〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
TEL 011-614-1873 FAX 011-613-9323  
H P <http://npolife.net/>  
発行/北海道障害者団体定期刊行物協会  
定 価/100円

## いのちの希望をつなぐ「絆」、人との支え合い

### ほっとひと息つきながら生きよう



理事長 深澤正義

「晴ればれとした気持ちで新しい年を迎え…」と  
 いたいたところですが、昨年あまりにも深まる閉塞感  
 と言わざるを得ない一年でした。北海道にとっては北  
 大名誉教授の鈴木章さんがノーベル化学賞を受賞。  
 バンクーバー五輪では道産子選手が活躍。陸上・福  
 島千里さんがアジア大会短距離2冠を達成。プロ野  
 球では日ハムに斉藤祐樹投手が入団し道民が楽しみに  
 開幕を待っていることなど、科学やスポーツには嬉  
 しいニュースが多かったように思います。

昨年は高齢者が焦点となるニュースが目立ち「人  
 哀し無縁社会…」 「消えた高齢者問題」は、この国が  
 ここまで落ちこんだのかと唖然とさせられました。

日本の家族はこれまで三世帯が一緒に暮らし助け  
 合ってきましたが、いまでは「老老介護」から「一人暮  
 らし老人」へと進み、それが当たり前になってしま  
 した。町内会では「見守り」対策にとり組んでいます  
 が、高齢者本人や住民の理解度が不十分で、これまで  
 の考え方では対応が困難となっています。道の「老老  
 介護」の実態調査で80代の妻が、夫の認知症を隠し  
 「二人で死ぬしかない」と近所付き合いをさけている  
 実態が報告されたり、寝たきりの夫と妻の生活費が月  
 5万円で子どもからの援助も頼めず、ホームヘルパー  
 の利用もできないなどの実態が報告されています。

障害者の問題も自宅で介助する親の高齢化が進  
 み、体力の衰えや軽い認知症などから約7割の介護  
 者が自分の死後に「残された子はどうなるのか」と悩  
 み、精神的な負担が大きく深刻化しています。今や地  
 域社会には体や心の障害、社会的排除、摩擦、孤立、  
 孤独などは誰にでも起こり得る問題となっています。

自殺問題もバブル崩壊後の「失われた10年」と呼  
 ばれる時期から、自殺者は毎年3万人を越していま

す。若者は、「人の支えがない」「他人から評価されな  
 ければ切り捨てられる」と思っています。子どもの自殺  
 は「いじめ」がクローズアップされがちですが、進路に  
 悩むと死ぬことまで考えていることを大人は知るべき  
 です。

真冬の札幌ではホームレスが寒さをしのぐため夜  
 通し歩き、希望を抱けぬままに冬を乗り切ろうとして  
 います。服役後、身寄りや行き場のない高齢者や知的  
 障害者が、生活の保障や福祉サービスを受けること  
 を知らないために再犯して刑務所に戻る人たちなど  
 も多くいます。

「幸福度の調査」で06年英国の研究者・08年米国  
 研究機関の調査の発表でデンマークはいずれも第1  
 位。それに対し日本は90位、43位と低位置となってい  
 ます。今の日本にとってまず安心した社会保障の基盤  
 づくり。そして地域や職場、家庭での人間関係の希薄  
 化による「孤立死」「無縁社会」問題など、弱者救済  
 対策は急務となっています。

今の福祉制度は「助けて」と言っても申請しない限  
 り支援してくれません。世の中には判断能力が困難で  
 「助けてほしい」とは言えない人たちが沢山います。  
 私たちはもっと他人への理解に努めるべきであり、互  
 いに理解し合って生きることこそが重要なのです。

ライフは、これからも社会的に困難を抱える人たち  
 と共働していくことを目標にして「社会的事務所」づ  
 くりを励んでいきます。ライフが抱える課題も山積し  
 ていますが、「100名をこえる良い仲間」と一緒に、こ  
 の一年さらに前進していきたい  
 と思っています。

今後とも皆様方のご支援・ご  
 協力をお願い申し上げます。



# 『社会的に不利な人々を排除しない、 切り捨てない社会をつくるために』

専務理事 石澤利巳

## ■性悪説を説く役人氏

とある役所の福祉課役人氏と話していた時のこと。その彼は、とても自慢げに「私は人間性悪説をとる」という言葉を発した。いまでもその顔を忘れることができない。

その役人氏本人は、努力によって今は善の状態にあるのか、それともまだ発展途上人なのかは聞きそびれた。

この「性悪説」と「性善説」。『性悪説は、(人の本性は悪であり)人は疑ってかかるべきだ。性善説は(人の本性は善であり)人を信じるべきだ。』と言う解釈が多いが、実は、人間は生まれてからの経験によって「善」にも「悪」にもなり得るといふ事らしい。

しかし、その役人氏は、「人は疑ってかかるべき」という認識の御仁らしい。



## ■隠れた性善説の人 タイガーマスク登場

年末年始にかけて、伊達直人(タイガーマスク)現象がメディアを賑わした。世の中まんざら捨てたもんじゃない、と思った人も多いに違いない。

また、元北海道職員の介護給付金不正受給の報道では、「まだまだ福祉を悪用する輩がいる」ことも明らかになり、またまた人間不信を増長したのも事実である。

だからと言って、世の中、白・黒や善・悪に単純に分けられるものではない。グレーもあれば、微悪や超悪もある。捉え方も立場の違いでそれぞれである。

問題は、物事を固定的に見てしまう事であり、同時に、すべては環境のせいであると、自己正当化してしまう事である。

## ■使いづらい福祉施策

役所に生活保護申請に行くと、担当職員は「親族で支援してくれる人はいない?」「就職活動はしているの?」と、にべもない対応。一人で行くとここで萎えてしまう事が多い。次の段階に進むと、個人資産や生活調査が行われる。多少の預貯金があれば、それがなくなってからまた来いとなる。借金があれば、当然資産なので生活保護は申請できない。そこで、借金の返済か自己破産手続きとなる。

障害者年金は、全て家族の生活費となり、就職先もなく、酒とギャンブルでサラ金に手を出す人が多い。へたすりゃ、障害者が稼ぐ給料や僅かな工賃さえ、家族のパチンコ代に消える事もある。爪に火をともしような生活をしながら暮らしている障害者が、たくさんいることを私も知っている。

しかし、役所は個々の状況はおかまいなし。担当職員の個別の判断で人生が決まっていく。

## ■就労に向かわない「生保生活」

上手くいって生活保護を受給できたとしても、自立に向けた準備金を蓄えると保護費は減額、まして車の所有は認められない。それでもって就活だといわれても、そりゃ無理な話。行きつくところ、管理され、衆目の猜疑心に晒されて生きていく。こんなシステムで誇りを持って生きていく事が出来るであろうか。私のようなナイーブな人間には耐えられない状況だ。

ということで、一度ハマった生活保護生活からの脱却は、本人の自助努力だけでは無理な話。雇用と言っても、この生保の悪循環システム(役人の偏見も含め)を変えない限り、生保から雇用への転換はそう進まない。

## ■自殺者が30,000人を超える社会とは

菅民主党政権よ、中途半端な「緊急人材育成・就職支援基金事業」等ではなく、もっと根

本的な雇用施策、福祉施策を作るべきだ。これらの基金事業の多くが、パソコン講習などにあってがわれ、雇用に結びついていない事は皆が分かっていること。

日本では、年間の自殺者が13年連続30,000人を超えている。40代から60代の男性が多く、リストラをはじめとする、勝ち組負け組などの格差社会が大きな要因となっているといわれる。



差別や格差は低い方に流れていく。競争原理は社会的弱者を排除する。排除された者同士の中でまた排除がはじまる。人間の愚かさなのか、社会の貧困なのか。

悩んでいても仕方がない。はじめよう、社会的に不利な人々を排除しない、切り捨てない社会をつくるために。競争原理の一般就労でもない、差別的な福祉的就労でもない、共に支えあい、共に生きていく、社会的事業所といわれる新しい労働モデルをつくろう。

### ■国がやらないなら自治体で。

いくら緊急性があったとしても、一つの法案を作り、法律化させるには膨大な時間を要する。本来であれば、「社会的事業所法案」（仮称）程度のものは、超党派の議員立法でもできそうな気がするが、現状の政局混乱を見るとそれは儚い夢であろう。

そうであれば、「大統領制」の市長や知事の特権や議会との調整で、自治体独自の「社会的事業所制度」であれば、充分可能である。問題は予算であろう。しかし、社会的事業所は補助金ありきではなく、仕事の受発注量によって可能な制度でもある。役所でいえば随意契約の見直し、公契約条例の作成などで、社会的事業所への優先発注で対応できる。企業は社会貢献や入札制度の見直しによって、社会的事業所への発注メリットが生まれる。当然シェアのシステムは公平性を保つべきである。そして何より大きなメリットは、雇用が生まれ、納税者が増大

することである。

それが遅々として進まない要因は、縦割り行政であり、役人一人ひとりの意識である。

### ■自治体がやらないなら市民力で。

それも無理なら、NPOを先頭に、心ある人々のネットワークで「社会的事業所」ファンドをつくり、市民力による札幌モデルの「社会的事業所」を作ろう。知恵があり、人がいて、気力は充分。あとは基金である。同志を募る。

もうひとつ。春闘という言葉が形骸化（たとえば失礼だが）して何年になるだろう。労働者の賃金を上げることを目的としたこの運動も、社会化できず、今日では市民的支持を失っているように思える。

そこで、社会的困難を抱える人々のもう一つの「春の闘い」を、今年の3月に取り組んでみたいと思う。今年は政治の季節。「福祉の向上」が声高に聞こえる時期でもある。利用されるのはもうごめん。政治主導から市民主導の「春闘」の構築が実現できぬものか。合わせて同志を募る。

やっぱり俺って、性善説なんだよなー。

注 性悪説／荀子の言葉。人間の本性は悪であり、たゆみない努力・修養によって善の状態に達することができるとする説

性善説／孟子の言葉。人間の本性は善であり、仁義の徳の端緒をはじめから備えているとする説

### 「グラミン銀行の取り組みから」

バングラディッシュにあるグラミン銀行は、ムハマド・ユヌスさんが提唱して、貧困層に融資を行い、経済的な自立を図ってもらう取り組みを行っている。

単純な施しではなく、ビジネスパートナーとして小額だが融資をし、起業してもらい、儲けたお金で返済してもらうというもの。この取り組みは、評価され、提唱したムハマド・ユヌスさんは、2006年にノーベル平和賞を受賞している。貧困層をなくすという取り組みだが、単純に銀行が儲けるだけの仕組みではない。ライフの取り組みも単純に障害者だけに限らず、社会的な困難を抱える人たちと共に仕事出来る仕組みを模索している。（タケ）

# 『NTT労組様より車イス贈呈』

理事 我妻 武



昨年の12月24日、NTT労働組合(東日本本部)より事務局長 柴田謙司様はじめ、役員の方々がライフにお越しいただき、手動式車イスをいただきました。

当日の手交式においては当法人の深澤理事長がライフを代表して謝意を述べましたが、ライフにとっては本当に素敵なクリスマスプレゼントになりました。

NTT労働組合では、地域貢献への取り組みのひとつとしてアルミ缶のプルタブを回収して、それを車イスに換えて地域の様々な団体へ寄贈するという活動を行っていますが、今回は林大記北海道議会議員よりご紹介をいただき、贈呈していただきました。

本当にありがとうございました。

## 感謝を込めて

共働サービスたねや 島 明子

今回、NTT労組様より車イスのプレゼントを頂き誠にありがとうございます。今回、林 大記議員のお心遣いを賜り、このような形で車イスを頂いたことで、ライフの活動が益々促進されることと思います。本当にありがとうございました。

小山 譲

NTT労働組合様、車イスを寄付していただきありがとうございます。

僕は日常的に車イスを使っている身ですが、リングプルを集めて1台の車イスができるというのは知っていたのですが、新聞で見た程度でした。

必要な量も重さ1 t、ドラム缶1個分など漠然としか情報をもっておらず、実際に実物を見たのは今回が初めてで、利用者として恥ずかしながら本当にできる事なのだと感じてしまいました。

正直なところぼくたちのような現場に興味をもっていただいていた事に驚いています。寄付という形ではありますが、NTT労働組合様



と関わりをもつことができ、光栄に思います。これからもご活躍を期待しています。

南 敬一

立派な車イスをありがとうございます。

クッションがきいた良い車イスアスファルトも気にならない車イスです。

岡林 満美

NTT労組様、心温まる車イスのプレゼントをありがとうございます。

一人一人の力が集まればあんな素敵な車イスになるんだと思いました。僕達も支えられる人になります。頑張ります。

NTT労組様、本当にありがとうございました。

社会的事業所集団  
はたらくてい  
傍楽亭

アウトソーシングセンター  
元気ジョブ

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32  
テラ二十四軒1F

TEL (011) 633-6666

FAX (011) 644-0088



## たくさんの縁結びを

理事 織本 義昭

年が明けて毎日の雪カキで少々疲れ気味です。雪を恨みたくもなりますが、ものは考えようで、この雪があるかぎり北海道は水不足に陥ることはありません。見知らぬ者同志が雪に埋もれた車を協力して押し出す場面にでくわしたり、一本道の雪道をお互いに譲り合って行きかうところを見たりすると、厳しい自然条件のなかでこそ人との繋がりがや思いやりが生まれるものではないかとも思えます。

それにしても昨今の政治状況はひどいものですね。立ち往生というか思考停止状態になっているとさえ感じます。政治とは、つきつめていけばいかに一部だけではなく国民全体にメシをどう喰わせるかという事につきるのではないのでしょうか。これだけ少子化になり人口が減る中で右肩上がりの経済は望むべくもありません。返すあてのない借金を雪ダルマ式に繰り返す、そういう社会・経済とはそろそろオサラバして、皆で経済成長がなくても生きていける、分かち合い、助け合いの経済・社会を創っていききたいものですね。

元気ジョブはわずかながらもその一つのテコになればいいなと思っています。

元気ジョブは平たく言えば、お見合いの仲人業みたいなものです。縁をたくさん創っていききたいものです。



## 新年を迎えての決意

小形 忠寛

あけまして おめでとう ございます。

「元気ジョブ」は、札幌市の委託事業であります。平成21年10月から2年半、国のふるさと雇用再生特別対策推進事業補助金の適用を受けて、障害のある方が施設等で行なっている軽作業等の作業工賃の向上とその安定化を目指して日々、企業や官公庁・団体等への営業を行なって施設等に仕事の振り分けをしています。

したがって、「元気ジョブ」の今年1年は、その成果が問われる重要な1年であります。

また、夏頃には星園高校跡への移転を控え、企業や官公庁・団体等に提案営業をして駆けずり回りたいと思っています。今、話題になっている「伊達直人」のように『施設等に仕事をしてほしい』というような人や企業が現れないかと…。

ともかく、「元気ジョブ」は今年が正念場、どれだけマッチングできるか、量なのか数なのか額なのかわからないが…。まだ、どこの行政・自治体でも行なっていないこの事業の確立と継続性、そして全国的な流れになることを目指して、私は現在、悪戦苦闘中ではありますが、頑張っていきたいと思っています。

## 高単価を求めて悪戦苦闘…

中田 俊秀

低単価の軽作業業務からの脱却を目指し、民間企業とのコラボレーションによる商品開発及び製作・販売し、付加価値を高め、工賃の増加につなげていけるよう試みています。

「オリジナルキャンドルの商品開発及び製作販売」を共同で「★★プロジェクト」を立ち上げ、「○○分野に特化したキャンドル」の製作を進めています。

民間会社の協力によりロゴマークやパッケージデザインの試作や収支、原価計算等の数値管理アドバイスも全面的にバックアップ。但し、一番の問題はそれを推し進めるための「資金」がないことです。部材仕入代や型代等の先行投資（運転資金）をどうするかです。スポンサーを募るか、助成金制度に応募するか等々…。知恵を出し合いながら解決策を探っています。

この問題を解決し「形」に落とし込むことができれば一つのモデルケースとなり、「こうすればこれだけ売上が上がり、利益が増え、工賃が上がる」ということが実証できれば良いと思います。

このプロジェクトは、これからも時間はかかりますが引き続き、粘り強く推し進めていきたいと思っています。

# 共働サービスたねや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンション MOMO1F  
TEL : 011-614-1871 FAX : 011-613-9323

## 所長の挨拶

島 明子

新年あけましておめでとうございます。

昨年からのたねやの所長になり、「たねや」や「ライフ」の皆さんに支えられ今年を迎えることが出来ました。今年も感謝の気持ちを忘れず努めて行きたいと思えます。昨年の「たねや」は旧来の福祉的作業所から一歩前進し、就労の場に少し近づいた年であったように思えます。清掃委託業務が定着したことで、旧来数千円だった工賃が平均約3万円(清掃担当者)の工賃を支払うことが出来ました。今年は清掃担当者以外の人も同様に最低でもプラス2万円の工賃アップを目標に新たな事業を検討しながら努めて行きたいと思えます。けれども、一人一人のニーズに合った方法を探ることを大前提に考慮していき、そして、今年はさらにスタッフ・メンバーという枠を壊し切磋琢磨出来る関係をたねやで作って行きたいと考えています。今年も皆で笑って、怒って、涙して、最後にまた笑える年にしましょう！！

## 今年目標

小野寺 貴彦

新しい仕事るとき、へんなこえをたてないでしゅうちゅうしてはさみで、きれをがんばってみたいと自分で思う。それで金をかせぎたいとおもいます。

笹尾 知弘

もう何回も書いてるとおもいますが、今の自分の目標は何かそしてどこかでじぶんの中で分岐点を見つけ決着をつけやりたいことの世界へ行きたいです。(といつからしいいつづけてるやら…がしかどこで決着をつけ今度こそは！！(今はもう)履歴書をかいているので練習ですが…。

高橋 洋幸

就職活動に向けて、今以上にスキルを上げて、がんばっていききたいです。

山本 守一

僕は、今年目標に歩いて行動する事をスローガンとしてかかげた杖をついてみんなの作業にさまたげないように、自分の中でうまくコントロールできるような人になりたいとおもいます。

宮澤 智成

新聞の2つめ折りをがんばりました。ていねいにせんをまがらないようにピッタリ合わせて、ピンを使って折りました。

増田 真理子

私のはじめて食べたのは昆布巻です。昔は食べるのが

苦手でした。食べて見たらおいしかったです。いろんな魚がありました。(にしん、さけ)また食べたいです。私のはじめての経験したのは、まずはどんどん焼きです。お休みの日に神社に行ってしめ飾りなどもって行ってきて、さいごにおまいりをしました。そしてはじめてのホテルでエステをしました。顔と首と頭のコースを選びました。さいしょはくすぐったくて笑ってしまいました。その後は落ちつきました。はじめてで緊張してしまいました。そして顔をさわってみると肌がきれいになりました。今年のはじめてのことをしたいです。

## シュレッダー事業について

小山 譲

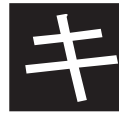
みなさん明けましておめでとうございます。新年のあいさつもダラダラ長くてもしょうがないので簡潔に済ませつつ、シュレッダー事業について説明したいと思えます！！…が実はこの事業、去年の年末にやってみよう的な感覚で始動したもので、まだまだ事業と名付けただけみたいな感じです。事業というよりは業務です。軽作業の他にたねやの中で、できる仕事のひとつがシュレッダーの仕事でした。今、行っている清掃委託業務のように工賃アップに繋がる形にはなっていないので事業とは言えないのですが…いずれは繋げられる働きをして、事業と呼べる形にしたいです。★この期間を利用して、シュレッダー事業についての勉強をしたいと思います。実際、どのような形になればシュレッダー事業と呼べるものになるのか、知識がほぼ皆無と聞いていいです。現在、メンバー2人でやっています。★たねやの名称の由来のとおり、種をまいたので芽になるように頑張ります。業務内容としては各部署にある不要な書類などを回収し、仕分け(ゴミの分別)をしてシュレッダーにかける(そのままだよ！というツッコミは受け取れません)今はライフ内で一部の部署にしか回収できていないのですが、後々はライフの全部署に回収に行けたたねやにはシュレッダー事業部があるという認識をもってもらうことを当面の目標にしたいです。もっと回収の場所を増やしたいという思いはありますが、急がば回れとも言いますし、小さな目標を立てて、それを達成しながらコツコツやっていけたらと思えます。

後藤 冬風

シュレッダーたのしいです。これからもつづけてやりたいです。

札幌市障がい者協働事業  
共働事業所

# きばりや



バラネット☆☆  
個性豊かなスタッフが共に働いています。

今年も1年よろしくお祈いします。

所長 岡田 悟

新年を迎え、すでに1カ月が経とうとしています。年が明けるとともに大雪の日が続き、通勤ひとつを取っても大変な日が続いています。

きばりやはと言うと…相変わらずの毎日です。2010年も一言で言うと相変わらずの年だったように思えます。日々の仕事に追われることに喜びを感じる時もあれば、次のステップに少し余裕をほしいと思う時もありました。

しかし2009年よりも今後のことについて話し合う機会が多かった年でもありました。一年の幕開けが混沌とした状況だったからかもしれませんが、「共働」についてや、軽作業という仕事について、またカフェでは環境や食材について、経験が肉厚となった従業員が色々な意見を交わしました。

2011年はそんな意見を踏まえて事業へとフィードバックできるような行動力のあるきばりやとなれるよう、また、その行動が継続性のある改革となれるよう一体となって踏ん張っていきたくと思います。

## 共々ネットの新年会に出て

織本 亜哉子

去る、1月14日に西区民センター区民ホールで共々ネットの新年会がありました。開会のあいさつがあつて、お菓子や巻き寿司やいなりを食べて、新成人の4人のお祝い会をして、いろんな事業所の人たちと話しができてうれしかった。アイヌの楽器の演奏もありました。小野寺さんがギターを弾いて、一緒に「翼をください」を熱唱しました。

あしの会の余興があり、おにゃんこクラブの「セーラー服を脱がさないで」を歌っていました。私もあしの会の歌を聴いて、歌を歌いました。その後、ひだまりの松橋君が嵐の歌を歌っていました。アリスクラブの人と話したり、もこもこの人と話したり、話して楽しかったです。

いろんな人の交流できてよかったです。今年も色々な行事に参加して楽しみたいなあと思います。

## 今年の目標

濱中 孝仁

僕がきばりやに入って3年になって、みんなで楽しく、いつも仕事を頑張ってるのが、色々なことを覚えて仕事に僕のたくさんに一生懸命に仕事を頑張る。そして終わる時に、あいさつをすることを僕の目標で、最後に嬉しくメンバーに人の言葉を私に見てる時に、自分で仕事の一緒にやって勉強をしたいです。僕の目標は、かいちょうしたいです。そして最後まで頑張ります。最後までGBを私のムーライーターに頑張ります。

共働事業所 きばりや

〒063-0061

札幌市西区西町北7丁目1-5 斎藤ビル1F

TEL: (011)669-3810 FAX: (011)669-3808

## THE ☆新年会

石川 和寛

1月14日に、きばりやから2人、西区民センターであった共々ネットの新年会に行きました。12時から3時まででした。ライフ関係者以外では、ポスティングでお世話になっている方や札幌市の福祉課の方々などが来ていました。本当はこの日は忙しかつたのですが、前から決まっていたので行くことができました。会場セッティングのために1時間前に入りました。

12時から新年会が始まりました。主催者はライフの黒黒さんでした。オードブルやウーロン茶などが出ました。僕は、正直、ビールの方が…。でも昼間から飲む訳にはいきませんね!

でも、まあ楽しかったです。

## 今年の抱負

鈴木 昭子

私の今年の抱負はみんなと協力して仕事をするを気持ちの中に持ちながら、少しずつではありますが、新しいことにも挑戦していけたらいいなあと思いつつ、体に気をつけて働いていきたいです。

## Cafe de キバラやより

### 新しい年を迎えて

1月に入ってようやく北海道らしい冬になりました。寒い時でも外にでて、ホッとあたたまるものを見つけましょう。カフェのメニューからも紹介します。1月の限定プレートで提供しました「**白いお豆のあったかポタージュ**」です。

お豆のやさしい味が体にしみるような心もホッとするスープです。カフェ・ド・キバラやは2011年も美味しいものを日々探求していきます!!

〒060-0808

札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内3F  
喫茶コーナー TEL/FAX: (011)758-6533

\*エルプラザ内配達承ります。



**コン・ブリオひだまり** TEL(011)615-4131  
 西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F  
**ひだまり配送センター** TEL(011)613-0611  
 西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F  
 コン・ブリオひだまりに配送センターができました。

### 新年のご挨拶

すっかりしっかり2011年が幕開けしました。ひだまり第何章か分かりませんが、新たな出発です。

毎日毎日賑やかで個性的な仲間が一生懸命働いています。キッチンが始まった時のように指を切ることもなくなりました。販売先でお金の計算を間違える事もなくなりました。しかし、そこはひだまりですから、毎日何かしら騒ぎがあって、それを笑いあいながら働いています。

今年は一体みんなにとってどんな年になるのでしょうか？  
出来るなら、毎日笑って過ごせる年でありますように… **ひだまり永田**



### メンバーのつぶやき

#### キッチンについて

**松橋 勇佑**  
キッチンではいつも野菜を切っています。盛り付けもやっています。これからはもっと給料アップを目指したいです。

毎日、さむい日がつづきます。カゼをひかないようにあたたかいふくそうしています。

**高橋 繁広**

### 今月のひだまりレシピ!!

ひだまり韓流お惣菜~~ごぼうのチャプチェ。(チャプチェとは細切りした野菜と春雨などの甘辛炒めです) だいたい2~3人分です。

#### 材 料:

ごぼう…1本  
春雨…50g  
牛切り落とし肉…100g



しいたけ・ピーマン適量  
にんにくのすりおろし…適量  
白いりごま…適量  
酒・ごま油・塩・コショウ…適量



たれ→しょうゆ…大さじ1と 1/2  
砂糖・みりん…各大さじ1

#### 下準備:

- ☆春雨を戻し、ざるに上げてしっかり水を切って、食べやすい長さに切る。
- ☆たれを混ぜ合わせておく。
- ☆牛肉は一口大に切り、たれの1/2量とニンニク・酒大さじ1を加えてからめておく。
- ☆しいたけ・ピーマンは細切りにする。
- ☆ゴボウはたわしでこすってよく洗い、皮つきのまま斜め薄切りにしてから細切りにする。
- ☆ゴボウは切ったものから水にさらしておき、ざるに上げる。

#### 作り方:

フライパンにごま油大さじ1を熱し、ゴボウを炒める。  
しんなりしてきたら残りのたれを加え、牛肉・しいたけを入れ炒め合わせる。  
春雨とピーマン・塩・コショウを加え炒めましょう。  
全体に油が回ったら火を止めて、白いりごまを加えざっと混ぜたら出来上がり！  
ゴボウと春雨の食感の違いを楽しんでください。



# ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション

# ゆい 繭結



## ホームヘルパーへの道

井口 真二

9月1日に、たねやから繭結に移動しました。ホームヘルパーへとしての1歩をふみだしました。9月の後半からヘルパーの学校に行き始めました。学校には9回行きました。学校が終わってからは、実習には3回行きました。グループホームに2日間に行ってきました。デイサービスセンターには1日行ってきました。ホームヘルプヘルパーに1日行ってきました。実習はこれで終わり、レポートを学校に出すのが終わったのは12月15日でした。

それからいろいろなことがありました。自分が知らない世界がありましたが、ヘルパーとして、いろいろなことを教わっていきたいです。免状をとったからには、自分にできることをやっていきたいです。いろいろなことをできるように頑張ります。いろいろなところに行ったりして出来るようになりたいです。

出来ることを1ずつ増やしていきたいです。留意点に気をつけながら利用者さんと信頼関係をつくっていけるように頑張ります。

1月8日に修了証明書が届きました。これで一区切りつきました。これから先輩ヘルパーさんにおしえてもらいながら仕事をしていきたいです。ヘルパーとして仕事ができるように1歩ずつ前に進んでいきたいです。これからもヘルパーとして頑張って仕事していきたいです。



※ヘルパーステーション繭結では、就労継続B型のたねやにて働いていた井口君を札幌市雇用促進事業の活用により9月1日より臨時雇用し、ヘルパー2級に挑戦してもらうことになりました。彼はヘルパーの専門学校に通う傍ら、コンプリオひだまりでの調理実習、車いす送迎等の実践も重ねながら頑張っています。

## ヘルパーステーション繭結の断続エッセイ

### だからどうした!! その1

笠井 衛二


私たちは、子供が産まれた日から妻をママ、夫をパパと呼びあい、二人目からは長男をお兄ちゃんと呼び、また同様に父と母を爺ちゃん婆ちゃんと名付けるのを当たり前で認めている。

つまり、家庭で一番の弱者の視線で、家族や社会関係を表現している。また併せて、名を呼ぶのではなく、お姉ちゃんとか、お爺ちゃんとかと呼称することで、全ての相互性を集約し秩序化させているといえる。これはきっと正しい生活習慣だろう。家族としての生活の基盤となり役割の尺度として機能している。



だが、没個性も強いられる。自分の父親を爺ちゃんとの呼称で父子関係性が希薄化し、兄と呼ぶことで、長男としての組織風な自覚や責任は育つが、個人の正しい我儘(わがまま)や、あるべき自己愛形成にはいかがだろう。

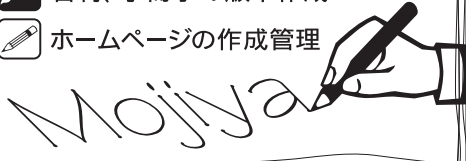
いずれにせよ、それらは呼ばれる側の悩み事である。呼ぶ側に何の問題意識も無い。



# 共働事業所 もじや

〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOMO1F  
TEL (011)644-5533 FAX (011)613-9323  
E-mail: mojiya@adagio.ocn.ne.jp

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理



## 約2年の共生を振り返って…

所長 下斗米 貴行

新年明けましておめでとうございます。

あっという間の一年が過ぎ、また今年も早いんだらうなと感じながら、新しい年を迎えました。

本年もよろしく願います。

しばらく報告が遅れていましたが、東苗穂の共同下宿で2人の仲間と暮らしていましたが、その中で感じた、共生きの部分に関して書きたいと思います。

仲間2人とは、2008年11月から2010年8月末まで約2年暮らしていました。ライフが進める、共に生きるということはどういうことなのか、雪中デモ後のシンポジウムで、この実会の加藤寮長が「共生きとは共死にする覚悟があるかどうかだ!」と言っていました。

簡単に共死にする覚悟と言われても、なかなかピンとこないこともあり、その言葉の意味はよくわからないままです。

実際に仲間と生活してみて、はたしてその覚悟があったのかと自問自答すれば、それは今もわからないままです。

結局覚悟なんてなくてもいいんじゃないかと思いました。覚悟というより、彼等と楽しく生活できるかとか、何かを共有することではないだろうか。

家族や恋人でもそうだと思う。障害者は特別な存在ではない。誰かが言ったが、右でも左でもなく、鳥は両方の翼がないと飛べないわけで…。

この意味がわかるのでしょうか。あまり思想や理念に片寄らないで、せめて楽しく生活することだけはそのままでいいんじゃないか、と思うこの頃です。

## 2011年の目標

岩崎 佑司

今年の目標を今、考えているのですが…これがなかなか、パツと思いつきません。

去年のことを思い返すと、徐々にではあります、さまざまなことができるようになり、スキルアップしているように感じています(勘違いかもしれないですが…)

今年は、昨年身につけた事をさらに正確で、ていねいな仕事ができるようになりたいと思います。そして、しっかりと体調管理をし、目標を持って仕事に取り組んでいけるように、毎日頑張っていきたいと思っています。

今年の目標は、パソコンに関する知識をもっと深めスキルの向上を目指し、仲間質問されても、的確に答えられるように頑張っていきたいです。

そして1人暮らしに慣れ、行動範囲を広げるとともに社会とのつながりを意識し、視野を広げていきたいと思っています。



## 6年間を振り返って

平田 信也

私は、もじやの印刷工場に入って6年になります。主に名刺・年賀葉書等の印刷をしています。特に難しいのは、色刷りで、2色や3色の印刷が難しい事です。今ではなれてきたようで綺麗に刷る事が出来るようになりました。

これからも、色々な印刷を試みたいと思います。

## ＝おじさんの独り言＝

人間、笑うと「生命力」が高まって元気になるそうです。目標を掲げて頑張るのも素晴らしいけれど「楽しく・笑って」毎日を過ごせるといいですね。

by sin



キッチンとこだわり品の店

コン・ブリオ ひだまり



西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F TEL(011)615-4131



キッチン紹介

キッチンでは手作りのお惣菜でお弁当を作っています。

しかしみなさん、お弁当の販売だけだと思いませんか？

コン・ブリオひだまりでは、店舗にてお食事をお召し上がりいただけます。

定食（お魚・お肉選べます）・うどん・カレーなど。

食後のコーヒーもあります。

（コーヒーは店舗販売している第三世界ショップのコーヒーです。）

ぜひお立ち寄りいただき、召し上がってください。

もちろん、お弁当のテイクアウトもしていますし、

お近くでしたら1食から配達いたします。

また、オードブル等もご相談に応じます。

ぜひ店舗の方に足をお運びください。

笑顔でお待ちしております。



Cafe de ｷﾊﾘｶﾞ

Open 11:00 ~ Close 18:30

(エルプラザ閉館時のみ休日)

札幌市北区北8条西3丁目  
札幌エルプラザ3F

(札幌駅地下直結)

TEL/FAX 011-758-6533

MENU

ドリンク

- コーヒー 250円  
(おかわり 150円)
- オーガニック  
コーヒー 300円  
(おかわり 200円)
- アイスコーヒー 280円  
(おかわり 180円)
- ホットティー 280円
- アイスティー 300円
- ミルク 300円  
(山の中牛乳 ホット/アイス)
- りんごジュース 300円  
(青森産100%)
- ゆずジュース(馬路村産) 300円
- ホットゆず茶(馬路村産) 300円
- 有機ウーロン茶 150円  
(ホット/アイス)
- 五穀大黒茶(ホット/アイス) 150円

プレート

- Aプレート 350円  
(ライ麦+サラダ  
卵+しもかわのチーズ) 500円  
ドリンクセット
- Bプレート 350円  
(ライ麦+ロールパン+  
サラダ+お豆のディップ) 500円  
ドリンクセット
- Cプレート 350円  
(ライ麦+ロールパン+サラダ  
+ヨーグルトクリーム+ジャム) 500円  
ドリンクセット

※ドリンクセットの飲み物はコーヒーか紅茶が選べます。

スイーツ

- ケーキセット 420円
- 大福セット 250円
- がんばクッキー 100円

安心してくつろげる

お店を目指して

毎日元気に営業中！

ちょっとした打ち合わせ時や

ほっとしたい時、

いつでも笑顔で

お待ちしております。



私のオススメ

# 舞台劇「焼肉ドラゴン」

専務理事 石澤 利巳

先日、何の気なしにBS放送で「焼肉ドラゴン」という舞台劇を観た。日本語や韓国語が劇中で飛び交うが、言葉を理解しない私でも、自然と劇にのめりこんでしまうほど、実によかった。

1970年代の大阪のとある街にある「焼肉屋」を舞台にした在日朝鮮人・韓国人たちの貧しい中にも、したたかに逞しく生きる姿は、笑いと涙の連続であった。「日本でも韓国でも、在日韓国人は捨てられた民、つまりマイノリティー。わたしの祖母や父、わたし自身の生き様をありのままに描きたかった」と作・脚本・演出の鄭義信（チョン・ウイン）氏は語る。

鄭氏は、北野武が主演した「血と骨」（作・梁石日）の脚本を書いた人でもある。梁の暴力的な表現を通じた差別への怒りと違い、「焼肉ドラゴン」は、日常の生活を通して人

間の「生」を描いたものと思う。

私の母も在日韓国人のルーツを持つ人である。ちょうど、主人公が私たちの親の時代であり、子どもたちは団塊世代である。40年たった今も、この国の差別は変わらない。しかし、日韓合同で開催された「焼肉ドラゴン」の上演を契機に、真の多文化共生の時代を築きたい。

新国立劇場で2011年2月7日～2月20日まで再上演される。



## ..... 営業時間変更のお知らせ .....

日頃より格別のご愛顧頂き、誠にありがとうございます。本年1月よりライフの営業時間が下記の通り変更になりました。営業時間の見直しにより一部のお客様にはご不便をおかけすることになりますが、何卒ご理解ご了承いただきますようお願い申し上げます。

**営業時間** 9:00 から 17:30 まで  
**休日** 日曜 祝日 第2・第4土曜日

## 編集後記

今年がスタートしたと思ったら、もう2月。年末年始は雪が少なくて良いなと思ったのもつかの間で、きちんと降ってきます。しかし、その降り方が凄まじい。JRの運休や遅れもありますし、札幌市内では雪のせいで道幅も狭くなり、冬独特の交通渋滞も始まりました。車イス利用者にとっても大変ですが、自然相手ではいかんとも。むしろこれからが大変ですが、この雪も降らないと大切な水や自然を守るうえで大事なことです。また、冬の観光で生活している方々も大勢いますから、雪が多くても、少なくとも困ったと言えませんが、この雪の多さはしんどい。（タケ）

## 🎉 ご協力ありがとうございます 🎉

### 寄付金

今泉 省吾様 石橋 浩治様 高井 健男様  
金子 彰夫様 赤松 竜様 佐藤 均様  
木村 嘉代子様

### アドボケ購読料

西川 捨克様 中村 隆子様 金子 彰夫様  
野村 俊幸様 高井 健男様 佐藤 均様  
木村 嘉代子様

## アドボケイト 睦月号(第122号)

2011年1月10日発行(毎月10日発行) 通巻第466号

HSK通信1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道身体障害者団体定期刊行物協会

細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

事務局長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-614-1873 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ <http://npolife.net/>

郵便振替口座 02710-4-63485